

デジタル社会における学び方と学びの場 —オンライン環境で「出来ること」「すべきこと」

開催地：奈良

グループ： 5班

2022.10.9

# デジタル社会における学び方と学びの場 —オンライン環境で出来ること、すべきこと—



## メリット

- ・ 端末を使った授業
- ・ ペーパーレス化
- ・ 教員不足の軽減
- ・ 場所を問わない

## デメリット

- ・ 私たちが機械を扱えない
- ・ 機会が柔軟な対応ができない
- ・ 私たちが適切な使い方をできない
- ・ 先生によって使い方が異なる

文科省の理想と現状のギャップ



ギャップを埋める事で課題解決へ...

# すべきこと

- ・ 文部科学省の理想と現場のギャップを埋める

・理想①

アクティブラーニング・ディスカッションをうまく活用し、生きる力の育成に繋げる

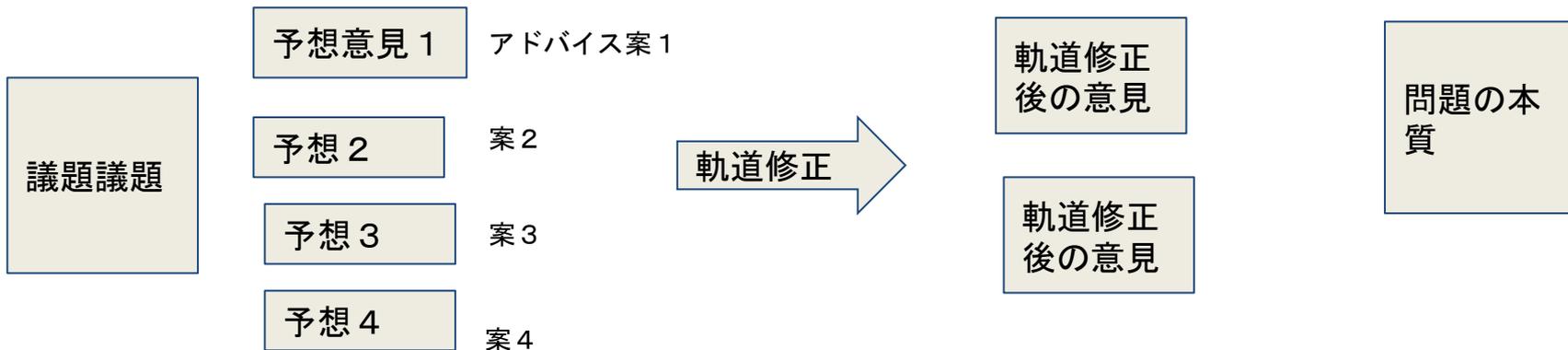
・現場

有効活用できていない

・原因

自由にさせすぎている（話し合いが方向性を見失いがち）⇒シナリオを作る

教師が不足⇒デジタルメンター



- ・理想 ②

理想教育現場のデジタル化

- ・現実

中途半端

- ・原因

先生によってデジタル化に差がある

生徒の中にもデジタルの知識に差がある

テストなどで精密に採点できない

# 解決策

- ・ 教員向けにデジタルの使い方の講習会を開く
- ・ 精密に採点できる方法の模索

# 提言

## 文部科学省の理想と現場のギャップを埋める

- ・ デジタルメンターによる「生きる力」の育成  
→ アクティブラーニングによる話し合いがうまくいっていない
- ・ デジタル教育の混乱を解消する  
→ 先生によって課題提出方法が違う



# 今回のまとめ

教員向けのデジタルの使い方講座。



生徒に使い方を教えられる。



文部科学省の理想と現場のギャップが埋まる。

